

京都から愛知ブランド企業を訪問！

2019年9月13日、京都機械金属加工青年連合会（機青連）の皆様が愛知ブランド企業を訪問されました。
まずは京都のものづくり企業の皆さんが、愛知ブランド企業2社をご訪問！

★まず、(株)八幡ねじの各務原テクノセンターへ。

「整流」がキーワードの同社。15万種類におよぶ多様な商品を、受注・発注・製造・在庫・出荷に至るまでトータルコントロール。ねじ1本からスピーディに届けることの出来る画期的な物流システムを構築されています。

視察の後は、本社会議を終えて駆けつけてくださった鈴木社長とのディスカッション。AI活用の新しい取り組みにも着手されているとか。
いずれ、その展開にまた驚かされるに違いないYAHATA社でした。

★午後は、清須市のエムエス製作所へ。

車のドア周りパーツの金型を、複数の車メーカーに供給。世界6ヶ国に進出しているグローバル・ニッチトップ企業。

ショールームと工場視察の後、迫田邦裕副社長と諏訪専務を囲んでプレゼン&ディスカッション。

機青連メンバーの皆さんの関心の的はやはり、迫田副社長の呼び掛けで実現した中小企業11社のコラボによる新製品開発で、「MUQU」と名付けられたフルミルド(削り出し)製法、つまり無垢の鉄から削り出されたアイアンヘッドは、従来の鍛造や鋳造では成し得なかった高精度を実現。

さらに、メッキ加工、シボ加工から美濃和紙資材に至るまで、エムエス製作所だけでなく、仲間企業11社との協働事業でこのゴルフクラブが出来上がり、販売開始されたということに、皆さん感銘を受けられていました。

★2社共に共通しているのは、若い事業承継者が、先代達が築き上げた社業の基盤を確実に発展させるための新しい道を、それぞれ歩き出されているということ。さらに、1社単独の技術やシステムの磨き上げに加えて、「連携」や「協業」に成長の核が息づいているということ。業種や規模は異なっても、同じ事業経営者、技術者の立場から、京都のものづくり企業の方々にも、きっと響くものがあったのではないだろうか。



この京都と愛知の交流は、2018年11月27日に開催した愛知ブランド15周年記念フォーラム「採用難時代を突破する！」に、講師としてHILLTOP株式会社の副社長・山本昌作さんをお招きしたことから始まっています。仲立ちをしてくださったのは機青連の顧問もされている中村智彦・神戸国際大学教授（愛知ブランドの推進委員会&評価委員会、共に委員を務めてくださっています）。HILLTOP社がForbes JAPAN主催“SMALL GIANTS AWARD 2019”でグランプリを受賞されたこともあり、「実際に訪ねたい」という希望が多かったため、2019年3月15日には、総勢60名に及ぶ愛知ブランド企業&愛知県庁職員の方々と一緒にお訪ねしました。

そしてHILLTOP社も参加されてる機青連のメンバーの方々が「今度は愛知を訪問したい」と言ってくださって、今回訪問が実現。こういう、地域をまたいだ製造企業同士の交流からまた何か新しい取り組みや成果が生まれたら素晴らしいと思わずにはいられません。